

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国連世界食糧計画拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国連世界食糧計画(WFP)					
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省 大臣官房 国際部 海外投資・協力グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 フード・フォー・ワーク事業により、復興途上にあるアフリカ諸国で稲作生産基盤を農民主体で復旧し、コメの中長期的生産性を向上する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	82,649	751	-	1米ドル = 110円	100
平成26年度	80,979	835	-	1米ドル = 97円	100
平成25年度	76,853	937	-	1米ドル = 82円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 内戦からの復興過程にある西アフリカ2カ国において、これまで大きな成果を生み出し高く評価されているフード・フォー・ワーク(労働の対価として食料を供与する住民参加型の農村開発事業)のスキームを活用し、水田開発等を通じた稲作支援、貧困地域農村の自立支援を行っている。事業は対象国において大規模な感染症が流行した状況下でも、対象農民の自発的行動による作業が継続されたこともあり、安定した稲作に向けて大きく進展しており、高く評価できる。 なお、WFPは、他の国連機関や現地政府などとの連携を進めており、食料・燃料価格高騰、大規模自然災害等に有効に対処している。また、ドナーの拡大や民間からの支援の増加に積極的に取り組むとともに、食料の現地調達による輸送経費の削減などの効率化を実施している。					